

令和7年3月7日

保護者様

県立村上特別支援学校  
校長 大谷 誠

## 令和6年度 学校評価（教育活動の取組）アンケート結果について（ご報告）

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度教育活動の取組について児童生徒、保護者の皆様からご協力をいただきました学校評価アンケート（11月実施）を集計し結果をまとめました。この結果を基に、当校の学校経営や教育活動の改善に生かしていけるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは、児童生徒、保護者、職員を対象に実施しました。児童生徒、保護者、職員に同じような質問をしており、比較しやすくなっています。アンケートの数値を「4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない」とし、ほとんどの項目について、おおよそ3.5ポイント以上となり良い結果をいただき、児童生徒は充実した学校生活を送ることができていると考えております。また、ご意見の記入についても「のびのびと学習しているようで嬉しく思います。」「子どもの特性を理解し、よく見て子どもに合った対応をしていただいで感謝しています。」など、温かいご意見をいただき、地域や保護者の皆様のご協力の賜と感謝しております。今後、この結果を基に改善又は、よりよい学校づくりに向けて取り組んでいきたいと思ひます。

小学部の児童、保護者の皆様からは、どの項目についても3.5ポイント以上と良い評価をいただきました。昨年度と比べても数値的に上がった項目も増え、子どもたちは充実した学校生活を送っていると考えています。ICT機器の使用に関する項目については、子どもたちがICT機器を使っている様子をたよりなどでお知らせしたり、ICT機器の使い方を見直したりするなど改善していききたいと思ひます。

中学部の結果に関しては全体的に良い評価となりました。昨年度、低い評価となっていた項目4「友達や教師とトラブルなく」については、友達同士良好な関係が築けるようになり、数値的にも改善が見られました。学級において、友達との良好な関係づくりについての支援や、状況に応じた個別対応が効果的にできていたことが要因として考えられます。今後も充実した学習活動に取り組めるよう環境を整えていきます。

高等部の評価についても良好であると捉えています。特に生徒アンケートの結果について、昨年度と比べて多くの項目で数値が上がり、iPadを使用した学習や卒業後の生活に関する学習等、充実した取り組みが行われているものと考えています。項目1（生徒の結果）については、やや低い結果となり卒業後の進路を見通し、生徒にとって必要な力を楽しく学べるよう考えていきます。また、項目3（ICT活用）について保護者の数値がやや低いことから、他学部と同様、ICT機器を使った学習活動の様子を各種たより等で保護者の皆様に情報発信をしていききたいと思ひます。

以上、各学部のアンケートから見えてくる課題についてお伝えしましたが、当校では来年度に向けて課題の改善と教育計画を立てていきます。保護者の皆様からいただいた貴重なアンケートやご意見を基に、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思ひます。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

【担当者】  
県立村上特別支援学校  
教務主任 増田 智吉

児童生徒の記述より「相談したいことや悩み事があれば書いてください。」

- がっこうはたのしいです。(小)  
→ [今まで以上に、安全安心を基に学校生活が楽しくなるよう学習計画を立て、子どもたちに寄り添った支援を心掛けていきます。]
- ともだちがプラレールをこわします。こまっています。(小)  
→ [友だちの作った物を壊さないよう伝えていきます。]
- 友だちにタッチされるのがいやだ。(中)  
→ [友だちとの正しい関わり方を伝えていきます。]

保護者の記述より「ご意見などございましたらご自由にお書きください。」

- いつもお世話になっております。のびのびと学習ができていようで嬉しく思います。ありがとうございます。今後ともよろしく願います。(小)
- 子供の特性を理解し、良く観察して、子供に合った対応をして頂いて感謝しています。(小)
- 問題行動が多い中、個別に対応して頂くなど、いつも支援して頂きまして感謝しております。ありがとうございます。  
→ [前向きなご意見、ありがとうございます。今後も、しっかりと児童生徒の皆さんに向き合いながら支援していきます。]
- 授業でコンピューター的な物は使ってないような感じがしたのでそこだけ2にしました。(小)  
→ [普段の学習や余暇活動の時間にiPad等使用し、上手に使えている児童生徒も増えてきていますが、保護者の皆様への伝え方に課題があったようです。今後、iPadを使っている様子についてたより等で伝え、ICT機器を使用した学習活動についても見直し改善を進めていきたいと思っております。]
- プールの修理は別のシーズンにできていたはずですが、わざわざ夏本番にする内容ではなかったはずですが。春秋など前年度のうちにするべきでした。(中)  
→ [この度のプール学習に関しては、大変ご迷惑おかけしております。今年度当初よりプールの修繕は進んでおりましたが、昨年5月の暴風雨による倒木で、プール施設の破損があり追加の修繕が必要となりました。来年度、プール施設使用での学習を計画していますが、災害(暴風雨、地震など)の状況によってプール施設が使用できない場合があります。そのような事態につきましては、ご理解とご協力をお願いいたします。]

様々なご意見ご要望、誠にありがとうございました。

令和6年度 学校評価(結果)

No.1～No.3…学習指導 No.4～No.6…生活支援 No.7～No.10…安全安心な学校 No.11～No.13…家庭地域連携 No.14…学校行事

児童生徒

小 中 高

1 学校の学習は楽しく分かりやすいですか。	3.7	3.7	3.3
2 学校の学習で分かることやできることが増えましたか。	3.7	3.7	3.4
3 学校では、iPadやコンピュータの使い方を教えてもらったり、実際に使ったりして学習していますか。	3.6	3.7	3.8
4 学校の友だちや先生とトラブルなく(仲良く)生活していますか。	3.7	3.6	3.5
5 先生は悩み事や心配事の相談にのってくれますか。	3.8	3.7	3.4
6 先生はよいことをほめてくれたり、悪いことをしたら正しい方法を教えてくれたりしますか。	3.7	3.5	3.7
7 学校では事故やけがをしないで、安全に生活することができますか。	3.8	3.6	3.7
8 先生は火事や地震の時に気をつけることや避難の仕方を教えてくれますか。	3.9	3.9	3.7
9 先生は風邪などにかからない方法や健康について教えてくれますか。	3.6	3.8	3.6
10 先生は3食バランス良く食べる大切さについて教えてくれますか。	3.8	3.5	3.4
11 先生とお家のことを話したり、お家で学校のことを話したりしますか。	3.6	3.6	3.5
12 先生は卒業後の生活に必要な力について教えてくれますか。	3.5	3.7	3.7
13 学校では、他の学校と交流したり、地域に出かけたり、地域の人と交流したりしていますか。	3.5	3.8	3.6
14 運動会やかがやき祭は楽しく充実した活動ができましたか。	3.8	3.9	3.6

保護者

小 中 高

1 学校は、一人一人の実態に合わせて分かりやすく、工夫しながら授業を行っている。	3.8	3.6	3.4
2 学校は、児童生徒に各教科の力が身に付くように授業を行っている。	3.8	3.5	3.4
3 学校は、児童生徒の実態に応じて学習面や生活面でICTを活用している。	3.5	3.4	3.3
4 児童生徒は、友達や教師とトラブルなく、楽しく学校生活を送っている。	3.9	3.5	3.4
5 教師は、児童生徒や保護者の話をよく聞き、相談にのってくれる。	3.9	3.7	3.7
6 学校は、児童生徒のよさを伸ばし、間違っただけには適切に対応している。	3.9	3.6	3.5
7 学校は、校舎などの教育環境を整備し、安全に学習ができるようにしている。	3.8	3.8	3.5
8 学校は、避難訓練や災害対策を適切に行っている。	3.9	3.9	3.6
9 学校は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないための学習を適切に行っている。	3.9	3.6	3.4
10 学校は、児童生徒の食事について、実態に合わせて支援したり、保護者と相談したりしている。	3.8	3.7	3.5
11 学校は、連絡帳やお便り、個別面談などで学校での様子を保護者に十分に伝えている。	3.9	3.8	3.6
12 学校は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.8	3.6	3.5
13 学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、地域との交流や地域と結びついた活動を行っている。	3.8	3.6	3.5
14 学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるような学校行事を行っている。	3.9	3.6	3.5

職員

小 中 高

1私(学校)は、障害特性や児童生徒の実態に合わせた指導の方法を工夫している。	3.2	3.3	3.6
2私(学校)は、各教科等の目標や内容を明確にして授業を行っている。	3.1	3.0	3.4
3私(学校)は、教育活動におけるICT活用の有効性を理解し、児童生徒の実態に応じて学習面や生活面でICTを活用している。	3.0	3.6	3.0
4私(学校)は、児童生徒との関わり方や生徒同士の関わりに気を配り、気になることがあれば共通理解を図っている。	3.6	3.9	3.8
5私(学校)は、気になる児童生徒に声を掛けたり、話を最後までしっかり聞いたりするよう心掛けている。	3.4	3.6	3.6
6私(学校)は、児童生徒のよさを大切にし、間違っただけには児童生徒の実態に合わせ、寄り添った指導を心掛けている。	3.3	3.5	3.2
7私(学校)は、安全点検日をはじめ、日頃から校舎の不具合や危険個所に気を配り、何かあれば速やかに対応している。	3.4	3.6	3.6
8私(学校)は、避難の仕方等、災害時の対応を自身が理解し、児童生徒に正しく指導している。	3.6	3.6	3.6
9私(学校)は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないために適切に指導している。	3.4	3.8	3.4
10私(学校)は、児童生徒の食事に目を向け、健康な生活が送れるよう指導している。	3.6	3.6	3.4
11私(学校)は、児童生徒の様子や連絡事項等をお便り、連絡帳り、個別面談等で保護者に丁寧に伝えている。	3.4	3.9	3.0
12私(学校)は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.2	3.4	3.4
13学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、地域との交流や地域と結びついた活動を行っている。	3.4	3.4	3.4
14学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるような学校行事を工夫している。	3.3	3.3	3.2

令和7年3月7日

寄宿舎生保護者 様

県立村上特別支援学校

校長 大谷 誠

## 令和6年度 学校評価（寄宿舎生活の取組）アンケート結果について（ご報告）

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度教育活動の取組について寄宿舎生、保護者の皆様からご協力をいただきました学校評価アンケート（11月実施）を集計し結果をまとめました。この結果を基に、当校の寄宿舎経営や支援の改善に生かしていけるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは、寄宿舎生、保護者、職員を対象に実施しました。寄宿舎生、保護者、職員に同じような質問をしており、比較しやすくなっています。アンケートの数値を「4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない」とし、ほとんどの項目について、おおよそ3.5ポイント以上となり良い結果をいただき、寄宿舎生は充実した寄宿舎生活を送ることができていると考えております。また、ご意見の記入についても「寄宿舎の先生方には、上手に接していただき感謝しております。ありがとうございます。」など、温かいご意見をいただいております。地域や保護者の皆様のご協力の賜と感謝しております。但し、相対的に数値が低い項目もあり、その項目については要因を捉えて改善していかなければいけないと考えております。

寄宿舎生、保護者の評価について、とてもよい結果となり寄宿舎生が充実した寄宿舎生活を送りながら保護者の皆様にも理解をいただいているものと考えています。特に保護者の数値が高く、どの項目もとてもよい結果となりました。一方で、寄宿舎生の数値が昨年度と比べて若干低くなった項目が増え、「分かることやできることが増え」、「友だちや先生とトラブルなく」等、基本的な寄宿舎生活を見直していく必要があります。また、寄宿舎生の項目8「風邪などにかからない方法や健康について」、職員の項目9「食事に目を向け、健康な生活が送れるよう」が数値的に低いことから、寄宿舎生が卒業後も食事や体調に留意しながら健康的で豊かな生活が送れるような支援方法を考えていきたいと思っております。

アンケートから見えてくる課題についてお伝えしましたが、当校では来年度に向けて課題の改善と寄宿舎運営計画を立てていきます。保護者の皆様からいただいた貴重なアンケートやご意見を基に、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思っております。今後も当校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

### 【担当者】

県立村上特別支援学校  
教務主任 増田 智吉

舎生の記述より「相談したいことや悩み事があれば書いてください。」

- 卒業までに自立宿泊を体験したい。  
→希望を確認しながら、体験できるような計画を検討していきます。
- 楽しく過ごせる日を増やしたい。  
→寄宿舍生活が楽しくなるような活動を計画したり、友達同士で楽しく関わられるような支援をしたりしていきます。
- 季節ごとにお楽しみ会がしたい。  
→今現在、ひまわり祭やクリスマス会等様々な活動もあるのでバランスを考えながら、来年度の活動計画を立てていきたいと思えます。
- Wi-Fiを付けてほしい。ご飯をいっぱい食べたい。お出かけにいっぱい行きたい。  
→学習用端末が接続できるWi-Fiについては食堂に設置しているので、今後も要望があれば、利用の仕方について検討していきたいと思えます。但し個人用の端末について接続はできません。食事については、栄養のバランスを考えて配膳しているので食べ過ぎに注意してほしいです。多めにほしいときは職員に相談してください。お出かけについては、他の活動とのバランスや職員体制に関わってくるので職員で話し合っていきます。

保護者の記述より「ご意見などございましたらご自由にお書きください。」

- 課題の多い子ですが、いつも舎の先生方に上手に接していただき感謝しております。ありがとうございます。  
→ご感想、ありがとうございます。これからも寄宿舍生に寄り添った支援を心掛けていきます。
- 大変お世話になっております。追加で準備する物品(特に衣類)が多く負担が大きいです。買っても買っても補助がなく辛いです。用意した衣類も寒そうなどと言われ悲しくなります。余暇支援のために寄宿舍にWi-Fiスポットを設置して頂きたいです。最近は事務連絡が多く本人の様子は体調や問題行動くらいしかわかりません。どんな日々を送っていたのか正直わかりません。体調不良も物品の不足も問題行動も親のせいだと責められていると感じます。週末に連絡ノートを開くのがストレスになっています。役不足の親で申し訳ありませんが今後も利用を継続したいので何卒よろしく願いいたします。  
→不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後、保護者に寄り添った対応、連絡帳の書き方等共通理解を図りながら改善していきます。また、追加の物品については、保護者の負担にならないよう配慮し、どうしても必要となったものについては、その都度相談させていただきたいと思えます。学習用端末が接続できるWi-Fiについては食堂に設置しているので、今後も要望があれば、利用の仕方について検討していきたいと思えます。但し個人用の端末について接続はできませんのでご了承ください。よろしく願いいたします。

様々なご意見ご要望、誠にありがとうございました。

令和6年度 学校評価（結果） 寄宿舍生・舎生保護者・寄宿舍職員

No.1～No.5…生活支援	No.6～No.9…安全安心	No.10, No.11…家庭地域連携	No.12…行事
----------------	----------------	---------------------	----------

寄宿舍生

1 寄宿舍での活動は楽しく分かりやすいですか。	3.8
2 寄宿舍で分かることやできることが増えましたか。	3.5
3 寄宿舍の友だちや先生とトラブルなく（仲良く）生活していますか。	3.5
4 寄宿舍の先生は悩み事や心配事の相談にのってくれますか。	3.6
5 寄宿舍の先生は良いことをほめてくれたり、悪いことをしたら正しい方法を教えてくれたりしますか。	3.6
6 寄宿舍では事故やけがをしないで、安全に生活することができますか。	3.7
7 寄宿舍の先生は火事や地震のときに気をつけることや避難の仕方を教えてくれますか。	3.7
8 寄宿舍の先生は風邪などにかからない方法や健康について教えてくれますか。	3.3
9 寄宿舍の先生は食事のマナーの大切さについて教えてくれますか。	3.8
10 寄宿舍の先生とお家のことを話したり、お家で寄宿舍のことを話したりしますか。	3.5
11 寄宿舍の先生は卒業後の生活に必要な力について教えてくれますか。	3.6
12 ひまわり祭などの行事は楽しく充実した活動ができましたか。	3.8

寄宿舍生保護者

1 寄宿舍は、一人一人の実態に合わせて分かりやすく、工夫しながら生活支援を行っている。	3.8
2 寄宿舍は、舎生に生活・社会性の力が身に付くように支援を行っている。	3.9
3 舎生は、友達や職員とトラブルなく、楽しく寄宿舍生活を送っている。	3.6
4 寄宿舍職員は、舎生や保護者の話をよく聞き、相談にのってくれる。	3.8
5 寄宿舍は、舎生のよさを伸ばし、間違っただけには適切に対応している。	3.9
6 寄宿舍は、施設設備等を整備し、安全に生活ができるようにしている。	3.9
7 寄宿舍は、避難訓練や災害対策を適切に行っている。	3.9
8 寄宿舍は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないための支援を適切に行っている。	3.8
9 寄宿舍は、舎生の食事について、実態に合わせて支援したり、保護者と相談したりしている。	3.8
10 寄宿舍は、連絡帳やお便り、帰省、帰舎時の引継ぎなどで寄宿舍での様子を保護者に十分に伝えている。	3.8
11 寄宿舍は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.8
12 寄宿舍は、舎生の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるような行事を行っている。	3.8

寄宿舍職員

1 私（寄宿舍）は、障害特性や舎生の実態に合わせた指導の方法を工夫している。	3.6
2 私（寄宿舍）は、各活動の目標や内容を明確にして支援を行っている。	3.4
3 私（寄宿舍）は、舎生との関わり方や舎生同士の関わりに気を配り、気になることがあれば共通理解を図っている。	3.5
4 私（寄宿舍）は、気になる舎生に声を掛けたり、話を最後までしっかり聞いたりするよう心掛けている。	3.6
5 私（寄宿舍）は、舎生のよさを大切に、間違っただけでは舎生の実態に合わせ、寄り添った指導を心掛けている。	3.5
6 私（寄宿舍）は、安全点検日をはじめ、日頃から校舎の不具合や危険個所に気を配り、何かあれば速やかに対応している。	3.8
7 私（寄宿舍）は、避難の仕方等、災害時の対応を自身が理解し、舎生に正しく指導している。	3.4
8 私（寄宿舍）は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないために適切に指導している。	3.6
9 私（寄宿舍）は、舎生の食事に目を向け、健康な生活が送れるよう指導している。	3.1
10 私（寄宿舍）は、舎生の様子や連絡事項等をお便り、連絡帳り、帰省、帰舎時の引継ぎなどで保護者に丁寧に伝えている。	3.6
11 私（寄宿舍）は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.8
12 寄宿舍は、舎生の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるように行事を工夫している。	3.5